

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (九州)	◎	観光型ホテル（専務）	来客数の動き	・3か月前から客が多くなり、景気が良い状態が続いている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・年度末に当たり人口移動、人事異動、決算処理などに必要な購買の動きが発生しており、景気が上向いている。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・2～3か月前と比較すると、気候の関係もあり人の流れが多くなっている。また、地物の野菜を中心に動いているため、単価の観点で販売しやすい状況となっており、景気はやや良くなっている。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・1月は正月用の花の需要があり売上が増加した。4～5月は新年度に伴うお祝いや母の日によって、客の動きが引き続き良くなると予想される。
	○	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・インバウンド、旅行中の学生、家族連れなど、ふだん見かけない客が来店しており、土日を中心に好調に推移している。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・上旬はマラソン大会が開催され、多数の参加者や応援者があったが、大きな交通規制の影響で近郊からの市街地への流入が減少し、友の会会員を含め来客数は伸長していない。中旬以降はホワイトデーのための来店、人気の物産催事、学生服採寸等に加え、催事などにより来店意欲が増している。試食や目当ての商品購入で列もできるほどになり、スポーツ関連も好調である。平日の回遊客も多くなり、土日祝日を上回って客単価や商品単価が伸びている。
	○	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・3月は曇天続きで外出需要が抑えられ、紳士・婦人カジュアル等の衣料品が苦戦している。生鮮食品ではバーベキュー需要が少なく、精肉が苦戦している。一方、菓子、加工食品、デイリー食品、青果、海産、総菜部門は堅調に推移しており、客の購買意欲は引き続き高く推移している。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・経済活動はほぼ新型コロナウイルス感染症発生前に戻り、集会、会議、イベント等は対面での活動が日常的になっているため、毎月の来客数が前年比10%程度伸長している。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・今年の2月はうるう年であったため、その要因を除くと、実質的に売上はまずまずである。また、3か月前と比較すると僅かではあるが上向きの状態を維持している。しかし、悪天候が多く、客足に少なからず影響を与えており、前年と比較すると横ばいの状態である。
	○	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・インバウンドの増加もあるが、新社会人や進学のための新生活需要の動きが多くなっている。
	○	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・やや良くなっているものの、通常の決算月ほどの販売量ではない。
	○	住関連専門店（従業員）	単価の動き	・大学や就職などの新生活により寝具の需要が高くなる時期である。今年は、例年と比べとりわけ単価が高く好調である。
	○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	お客様の様子	・前年と比較すると新規の客は横ばいであるが、新規の外国人客が若干増加している。今後もこの傾向は続くと思われ、景気は上向いてくる。
	○	居酒屋（経営者）	単価の動き	・メニューの価格を上げたが注文の品数が減少することはなかった。また、口コミでは低価格と評価されているため、売上が若干増加している。
	○	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊客は横ばいであるが、歓送迎会、謝恩会等の宴会や婚礼が増加傾向である。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・インバウンドの増加も順調で、単価も高止まりしている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前と比べ国内外からの利用者数が増加している。要因としては春休みや桜の観光シーズンの影響がある。
	○	旅行代理店（職員）	販売量の動き	・海外旅行の販売が、3か月前と比較すると約3倍に増加している。
	○	タクシー運転手	お客様の様子	・様々なイベントがあり、人の動きが若干良い状況である。
	○	通信会社（営業担当）	それ以外	・飲食店でのにぎわいが増えている。

○	観光名所（職員）	来客数の動き	・指標としている土産品や水産加工品等を販売する小売店や飲食店では、来客数や売上共に伸びている。
○	美容室（経営者）	販売量の動き	・2～3か月前と比較すると売上が増加している。春の気候になると服装に変化が出てきて徐々に上昇傾向になっている。
○	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	お客様の様子	・客先の受注状況や株価が好調に推移しており、当社への発注も意欲的である。
○	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・今年に入り来場者数は前月比約10%と増加傾向が続いており、販売実績にも表れている。
□	商店街（代表者）	単価の動き	・来客数は若干増加しているが、客単価が下落している。
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・3月に入り人の流れは落ち着いたため余り大きな変化はなく、景気を判断する材料がない。
□	商店街（代表者）	単価の動き	・入学や卒業などは落ち着いている。当商店街の商圈では、最近スーパーマーケットやコンビニエンスストアが新店出しているため、当商店街の死活問題が続いている。
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・例年この時期は卒業、入学、転勤等で人の動きが多くなり、来街者が増え売上が上向くが、今年はその状況が見られない。
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・生活に余裕がある客はすぐに季節商材への消費行動に移るが、収入に限られている客は慎重になっており購入につながらない。
□	一般小売店〔精肉〕（店員）	販売量の動き	・販売量は引き続き好調を維持している。
□	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	お客様の様子	・来客数や購入単価は前月と変わらない。物価の上昇は高齢者にはかなりの負担になる。日本茶はぜいたく品と捉えられているため、購入単価を抑える商品になっている。
□	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・催事を除外した場合、3か月前と比較すると売上が落ち込むことも、伸長することもない。インバウンドも春節以降は12月と同程度の状況であり高水準でとどまっている。
□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・インバウンド需要に伴い、化粧品を中心に売上が改善傾向にある。しかし、物価高も影響していると考え、依然として消費マインドが弱い。飲食関係等は良いが、婦人服の売上がやや苦戦している。
□	百貨店（業務担当）	販売量の動き	・時計や宝飾品、美術品などの動きが堅調であるため全体としては売上が確保できているが、買い回り品といわれる一般商品の動きは良くない。食品を始め、価格の上昇は買い控えをする要因となり影響を受けている。消費についても2極化が進んでいる。
□	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・引き続き高額品が堅調に推移しており、加えて食料品や化粧品等のデイリー商材も好調に推移している。
□	百貨店（経営企画担当）	販売量の動き	・化粧品や宝飾関連は依然好調で、売上がけん引している。一方、これまで好調であった食品の売上が前年の水準を割る傾向にあり、販売量も減少している。
□	スーパー（店長）	来客数の動き	・景気動向の変化はみられず、来客数は横ばいである。緩やかであるが、価格上昇が続いている。
□	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・食品価格の上昇により消費者の購買点数が前年比マイナスで推移している。特売商品を多く準備すると購買点数は増加するが、定価では買い控えするケースが目立つ。
□	コンビニ（経営者）	単価の動き	・売上や来客数が若干ではあるが伸びている。しかし、買上点数が下がり売上は横ばいのままで、厳しい状況が続いている。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・キャンペーンに対する反応は比較的よいが、全体的には大きな変化はない。
□	コンビニ（店長）	販売量の動き	・前年の売上より増加しているが、前月よりは減少している。
□	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・桜の季節となり客の気分も上向きになるため、今後は需要が増えることに期待している。
□	衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・暖冬であったが寒い3月であったため、常連客以外の春物衣類購買の動きは鈍い。
□	衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・3か月前と比較すると、3月は衣類の買換え需要が多少あった。景気の回復というより、自分へのごほうびとしての需要のようである。
□	家電量販店（店長）	お客様の様子	・1年前と比較すると客単価の下落が顕著である。

<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	来客数の動き	・物価高の影響が続いており、来客者数の前年比減少の傾向が止まらない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	販売量の動き	・毎月、商品の値上がりが続いており、その影響で消費の伸びが鈍化している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・決算期であるにもかかわらず、販売台数が例年より増えていない。絶えない値上げで顧客の意識も節約に向かっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・メーカーからの新車配給が順調に進み、売上が伸びている。中古車販売は前年と比べて単価が上がっているため、今期の決算では増収増益が期待できる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	お客様の様子	・度重なるメーカー不正問題の影響がまだ残っている状況である。客の不信感が払拭できず、受注残からのキャンセル、受注したくても車種に制限があるなどの状況となっており、景気が良くなっているとはいえない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	それ以外	・今月の都市部でのキャンペーンは後半に回復してきたが、新規部門の売上は低迷しており、店舗では横ばいである。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	お客様の様子	・3か月前は当館においてシネコンにヒット作がなく、全館的に少し落ち着いた商況であった。一方、3月の現状も決して好調ではないため、景気は変わらない状況である。2月に実施されたキャッシュレス20%還元キャンペーンや気候温暖による春物の早期稼働があり、シネコンに強力なヒット作があるものの、売上をカバーできていない状況である。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	来客数の動き	・地方の中小零細企業の賃上げがみえない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・季節的に県内外客やインバウンド、イベントや卒業が重なるが、地元の催しなどが少ないとみられる。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（販売担当）	販売量の動き	・2023年度の販売の動きが大きかった分、2024年度に大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・インバウンドは新型コロナウイルス感染症発生前より確実に増加している。加えて、スマートフォンの高性能化により言語の障壁もなく、タクシー利用者の人数は急増している。一方、賃金上昇の期待感はあるものの、全体として節約傾向が続いており、歓送迎会が減少している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	競争相手の様子	・地域経済が余り良好でないため競合他社も影響を受けており、当社への乗換営業を強化している。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・悪天候による影響はあるものの予約数は順調に推移しており、海外からの来場者が徐々に減少している。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（営業）	来客数の動き	・企業コンペが減少している。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	販売量の動き	・海外企業が進出しているが、当地の生活状況は変わらず景気が悪いままである。単価が低い状況であるが、もっとサービスを求める客が多い。
<input type="checkbox"/>	美容室（店長）	お客様の様子	・前年と比較すると卒業式に出席する先生などの着付けがあったが、3か月前と比較すると来客数が増加しておらず、景気は良くなっていない。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行されたのち、病院の入院患者確保シフトにより、介護サービスの顧客紹介が減少している。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	来客数の動き	・会員制のサービス業に関しては下げ止まりに近く、利用者数がなかなか増加傾向にならない。物価変動などの影響もあり、景気が好転しているとはいえない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	単価の動き	・観光地には客が増えており、関連業種は忙しそうである。しかし、建築住宅産業は相変わらず材料や製品単価が上昇しており、厳しい状況が続いている。そのため、仕事に対する対価もなかなか上昇せず、特に設計など人件費が掛かる業種では対価への価格転嫁ができていない。特に地方は厳しいと考えられる。

	□	設計事務所（代表）	来客数の動き	・来客者数に変化はない。
	□	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・貿易関係者で特に東南アジアや中国から当市に移り住んでいる人が多くっており、貿易関係は景気が良いと考えている。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・年金生活者が多い地方の商店街では所得が増加しない客が多いため、食料品を始め生活必需品の更なる値上げで買物には慎重である。
	▲	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・売上が好調な販売店はほんの僅かで、ほとんどの店では売上が少なく、景気の良い話を聞くことがない。魚の価格が高いことが大きな原因であるが、どうにか経営は続いている。
	▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・単価上昇は続いているが、購入点数や来店頻度の減少も続いており、売上は前年ほどの伸びはなく低迷傾向である。景況感は悪化傾向である。
	▲	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・今までは来客数が減少し、客単価や1品単価は上昇、買上点数減少という傾向であったが、このところ来客数が徐々に増えてきている。当社のなかで外食部門が伸びているが、素材関係が長引く値上げで減少傾向にある。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・物価上昇の影響で来店頻度が減少しており、必需品以外の買い控えが顕著になっている。価格に敏感になっているためリーズナブルな商品が動いており、全体の底上げにはなっていない。
	▲	コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・1日の間で最も客単価が多い時間帯である夜間の客の動きが鈍くなっている。気温がまだ低いこともあるが、今後も続くのではないかと危惧している。
	▲	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症も落ち着き、売上がもう少し増加すると予想していたが、想定していた送別会等の予約が余り入っていない。送別会があっても、以前のような大人数ではなく、少人数の来客が多くなっている。
	▲	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	販売量の動き	・1月と比較すると、前年比の伸びは鈍化している。仕入れ等物価高騰により、景気は良くなってはいない。
	▲	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・光回線販売の繁忙期であるが、例年ほどの販売件数はない。
	▲	学習塾（従業員）	お客様の様子	・高校入試制度の見直しがあり、3月まで塾を続ける人が減少している。家計状況を背景に支出を減らしたいという家庭の様子がうかがえる。
	×	住宅販売会社（代表）	販売量の動き	・物価高と金利上昇リスクで集客数が減少したため販売量が下降気味となり、景気が悪くなっている。
企業 動向 関連 (九州)	◎	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き続き主要取引先からの受注が好調である。
	○	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、3月は異動や行楽の影響もあり好調な月であった。今年の1～2月は好調となり、それ以上に3月は良い成果を収めている。若干冷食メーカー向けの納品に陰りがあるが、居酒屋関連や量販店は順調に動いている。3月末を迎え、今年度の売上や利益は過去にない最高な年になっている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メーカーの動きで、半導体の供給が良くなっている。その動きに伴い、当社の協力会社では受注量が増加している。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・取引先の業況が改善傾向にあり、当社への引き合いが増加している。そのため、新しい工場建設や機械設備の導入について、国の成長投資補助金を念頭に検討を開始している。
	○	建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・ここ1か月で多くの受注案件が完成している。今の状態が今後4か月は続くことに加え、今から工事が始まる現場が5件あり、この状態が続くよう企業努力をしていきたい。
	○	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・食品関係を中心に安定した在庫回転率を確保している。人手不足の波ほどの業種、どの職種にも影響を及ぼしており、それだけ消費が増えていると実感できる。
	○	金融業（営業）	取引先の様子	・4月以降の賃上げが企業の最大の問題である。情報収集や対応を検討中であるが、多くの企業でかつてない賃上げを実施する可能性がある。

	○	金融業（営業担当）	取引先の様子	・旅行客や一般消費者を対象とした物販、飲食店等は客がかなり増加し、予約も一杯の状況である。物販、飲食店、小売店に関しては、売上が増え景気が改善している。一方、住宅関係では、今後の金利上昇の懸念もあり若干販売戸数に減少傾向がみられる。しかし、全体的には企業の景気は良いと考えられる。
	○	金融業（調査担当）	取引先の様子	・経常運転資金の貸出金が、前年同四半期比で増加している。
	○	広告代理店（役員）	それ以外	・観光関連などで上向きの要因がみてとれる。
	○	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・人材投資に積極的な取引先が増えている。
	○	経営コンサルタント（社員）	それ以外	・当市の繁華街では韓国・東南アジアの客が多く、ホテルや商業施設、飲食店で来客数増加がみられる。
	□	繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・季節の不安定さと温暖化で服が売れず、どの工場も機械の稼働率が低い。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在、再生可能エネルギー関連の設備受注をしているが、それ以外の商談は余りない。
	□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・徐々に取扱量は回復しているものの全体的には横ばいであり、既存貨物は伸び悩んでいる。特に、食品は賃上げ傾向であっても物価高の影響を大きく受けており、前年と比較すると景気減少が続いている。一時期好調であった木材も低迷している。
	□	金融業（従業員）	取引先の様子	・住宅、家電、自動車の販売は減少傾向である。一方、百貨店やスーパーマーケットの売上は回復している。また、飲食店や旅館・ホテル等旅行・観光関連業種の売上も増加傾向を示している。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・建設業や運輸業の人手不足が強まっており、サービスの維持や業務運営に腐心している状態である。飲食店の客足は戻りつつあるが、客単価の伸びは弱い。
	□	不動産業（経営者）	取引先の様子	・取引先の景気が上向いている企業とそうでない企業に2極化しており、景気は変わらない。
	□	新聞社〔広告〕（担当者）	受注量や販売量の動き	・新聞広告に関して、東京は年度末予算で急な申込みが多いが、九州では余りそのような動きがない。
	□	広告代理店（従業員）	取引先の様子	・最近の株価の高値更新や賃金上昇の話題で景気が上向いている。取引先では事業縮小や再構築する動きが見られるが、現状の景気は変わっていないのが実感である。当社の売上も3か月前の比較では変わっていない。
	□	経営コンサルタント（社員）	競争相手の様子	・確定申告と決算の時期となり、各事業所の活動も内部に集中しているため、新しい動きは見られない。
	□	その他サービス業〔物品リース〕（職員）	取引先の様子	・情勢は大きな変動もなく、景気は変わっていない。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の値上げや最低賃金の増加があり、特に分業体制で取引先の値上げが大きい。それに伴う価格の改定をしているが、うまくいかず売行きが落ち込んでいる状態である。
	▲	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	取引先の様子	・来年に向けて新機種製造の計画はあるが、現状ではどこも生産が落ちている。
	▲	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	競争相手の様子	・市町村から福祉、まちづくりの調査、計画策定の業務を請け負っており、4月以降の業務の発注が始まったところである。プロポーザルが多いため4月提出が増えるが、まだ受注できていない。入札も始まっているが、入札件数は前年より少ないため、利益度外視で受注するケースがみられる。
	×	—	—	—
	◎	—	—	—
雇用 関連 (九州)	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・イベントの引き合い件数が増加している。
	○	学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・2025年卒業者の求人数は前年を上回っている。また、企業の採用活動も活発に動いており、業種によっては採用人数を大幅に増やす企業もある。既に内定を得ている学生もおり、早期選考が拡大していると考えられる。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数や求職者の動きに特に変化がなく、職員を増やすというより、欠員補充のための依頼が多い。

<input type="checkbox"/>	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・年度末に合わせ、派遣から直接雇用の切替えの依頼件数が増加している。コストが掛かってでも優れた人材を確保したいという企業側の傾向を強く感じているが、派遣受注数や新規登録者数の増加は余りみられない。
<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作 会社 (編集者)	求人数の動き	・求人数を前年と比較すると大幅に取扱件数が減少している。例年、1～3月は年間で最も求人需要は高いが、今年はいこれまでの傾向と異なる。採用難が続くなかで、企業の採用手段の多様化もあり、中小の小売飲食業界では積極的な採用をするほど景況は良くないと考えられる。
<input type="checkbox"/>	新聞社 [求人広 告] (社員)	それ以外	・大手企業の賃上げや株価上昇など良い報道はあるが、日常の購買行動に結び付くかは疑問である。
<input type="checkbox"/>	新聞社 [求人広 告] (担当者)	それ以外	・大学の就職状況はおおむね良く、初任給の引上げなど賃金の上昇もあり、景気はまずまずである。一方、若い世代は転職や離職が多く、企業の人手不足は深刻となっている。景気の良い業種はあるが、厳しい業界もあり全体の景気としては変わらない。
<input type="checkbox"/>	職業安定所 (職 員)	周辺企業の様子	・前年は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したこともあり、景気回復の期待感から求人数が上昇していた。しかし、物価上昇が続き、景気の先行きが見通せず、事業所は人手不足ではあるものの募集や採用を控えている状況となっており、前年と比較すると求人数の減少が続いている。
<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機 関 (職員)	求人数の動き	・新卒の学生の採用戦線は優秀な学生の取り合いになっている。景気が上向いており人材募集が増えているが、早期化による側面もあり、判断がととても難しい。
<input type="checkbox"/>	学校 [専門学 校] (就職担 当)	求人数の動き	・物価高騰や人手不足、賃上げの状況は変わっていないため、景気は横ばいである。
▲	—	—	—
×	—	—	—